

Thai



日本語パートナーズタイ 7 期
大久保 陽子

2019 年 5 月 21 日（火）に、バンコクのサイナムプーン高校に派遣されました大久保です

全校生徒、約 2,600 人の女子高です。東京の新宿のような、池袋のような都会にある高校です。学校の向かい側には小学校があります。

朝の通学時間帯は交通量が多く、「危険！」の言葉以外表現できないほどです。小学校には、親が子を送ってくるのが普通のようにです。車やバイク、日本では見かけないバイクタクシー、トゥクトゥクで通学しています。自転車に乗っている人はほとんど見かけません。バイクは、2 人乗りは当たり前で、3 人乗りや、運転手お母さん子供 2 人の 4 人乗りといったサーカス並みの家族もありました。



校舎です。

授業の時間割です。

朝礼	7 : 3 0 ~ 8 : 1 0
ホームルーム	8 : 1 0 ~ 8 : 3 0
1	8 : 3 0 ~ 9 : 2 0
2	9 : 2 0 ~ 1 0 : 1 0
3	1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 0 0
4	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
5	1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 4 0
6	1 2 : 4 0 ~ 1 3 : 3 0
7	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 2 0
8	1 4 : 2 0 ~ 1 5 : 1 0
9	1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 0 0
1 0	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 5 0



校内にある銅像や置物。

休み時間がありません。

昼食は中学生が 4 時間目の 11:00~11:50、高校生が 5 時間目の 11:50~12:40 迄に済ませます。

授業は1時限50分で、10時限まであります。7時半から始まり、朝礼は毎日あります。昼休みが50分あるだけで休み時間はありません。日本と違うところが多くて驚きます。日本のように生徒が教室で待つ方式ではありません。休み時間がないのに移動しなくてはなりません。トイレも済ませます。授業は時間通りに始まらないし、終わりません。時間を気にしないというべきか、大らかというべきなのか難しいところです。日本語ボランティアをしていた時、小学校の先生から、外国人の児童が勝手にトイレに行くとかどこかに行ってしまうと聞いたことがあります。システムの違いからの行動だったのだと知りました。

朝ごはんを、学校の食堂で食べる生徒や先生。職員室の先生の机には、屋台で買って来た袋入りのご飯がよく置いてあります。そしてそれを机で食べています。それについて誰もなにも言いません。日本の学校教育しか知らない私は当たり前と思っていたことがこうもあっさり覆されてしまうと、どちらが正しい・間違っているとは言えないと思いました。



校長先生にご挨拶しました。



屋根付きの校庭というか、壁の無い体育館というべき所で、(ほぼ外) 毎日朝礼を行います。



全校生徒の前で着任のあいさつをしました。



売店(食べ物)です。



食堂です。